



2022年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年10月8日

上場会社名 中本パックス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7811 URL <http://www.npacks.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河田 淳
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 芦原 隆行 TEL 06-6762-0431
 四半期報告書提出予定日 2021年10月8日 配当支払開始予定日 2021年11月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第2四半期の連結業績（2021年3月1日～2021年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第2四半期	20,234	17.9	1,380	76.0	1,534	90.0	858	25.6
2021年2月期第2四半期	17,161	△0.2	784	3.1	807	1.6	683	23.2

(注) 包括利益 2022年2月期第2四半期 1,154百万円 (74.8%) 2021年2月期第2四半期 660百万円 (52.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第2四半期	105.00	—
2021年2月期第2四半期	83.63	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年2月期第2四半期	32,651	15,135	42.3	1,691.25
2021年2月期	31,784	14,222	40.9	1,590.02

(参考) 自己資本 2022年2月期第2四半期 13,821百万円 2021年2月期 12,994百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	28.00	—	29.00	57.00
2022年2月期	—	29.00	—	—	—
2022年2月期（予想）	—	—	—	29.00	58.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年2月期の連結業績予想（2021年3月1日～2022年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,500	9.6	2,330	35.8	2,500	42.8	1,470	11.7	179.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年2月期2Q	8,173,320株	2021年2月期	8,173,320株
② 期末自己株式数	2022年2月期2Q	1,067株	2021年2月期	1,067株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年2月期2Q	8,172,253株	2021年2月期2Q	8,172,292株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について）

当社は、2021年10月12日（火）に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。

当日使用する四半期決算説明資料については、開催当日に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結結果計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況で推移いたしました。7月から緊急事態宣言が再発出されるなど収束の見通しは立っておらず、先行きも当面、極めて厳しい状況が続くと見込まれます。

このような状況の下、「改質エコ技術でパッケージングの世界を変える Nブランド製品の拡販と環境経営の推進、原点回帰でお客様満足度を最大化する」をスローガンに、環境への負荷を低減できる開発製品の販売、製品の安定供給、原価低減、生産効率・品質の向上に注力いたしました。また、2020年7月に紙加工に強みを持つ三国紙工株式会社を子会社化し、環境に対する意識の高まりによる紙製品の需要増に対応できる態勢を整えております。

この結果、当第2四半期連結結果計期間の経営成績は、売上高は20,234百万円（前年同期比17.9%増）、営業利益は1,380百万円（同76.0%増）、経常利益は1,534百万円（同90.0%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は858百万円（同25.6%増）となりました。なお、廊坊中本包装有限公司の解散決定に伴う特別損失150百万円を計上しております。

製品用途別の経営成績は次のとおりであります。

(食品関連)

中食や内食需要の高まりにより冷凍食品・乳製品などのスーパーマーケット向け包材、汎用性の高いテイクアウト・デリバリー用の容器・トレー向け商材、農産物向けフードパックなどが堅調に推移しました。また、コンビニ関連では容器成型加工が増加したこと、デパ地下向け商材も前年同期比で一部回復したことにより、売上高は12,864百万円（前年同期比9.6%増）となりました。利益については、行楽やイベント用の比較的高価格帯の容器・トレー向け商材が低調であったものの、生産効率改善効果や国内外の関係会社の利益率向上により、売上総利益は1,554百万円（同24.4%増）となりました。

(IT・工業材関連)

世界的な半導体不足による影響が一部でありましたが、電子部品用途の受託加工、製造工程用フィルムやパッケージ材料が5G関係や車の電装化により増加したほか、自社開発品のNSセパを中心に離型フィルムも日本および中国で堅調に推移しました。その他、次世代ディスプレイ、次世代電池やFPCなど成長が見込める分野の試作も増加した結果、売上高は2,789百万円（前年同期比33.7%増）、売上総利益は830百万円（同39.2%増）となりました。

(生活資材関連)

コロナ禍で在宅時間が増加する中、家庭での調理時間・工程削減に貢献するまな板シートやキッチンマットなどの新商品が好調に推移したことにより、キッチン・衛生関連が大幅に増加しました。また、圧縮袋関連は新規取引先獲得とテレビショッピング好調により増加、DIY・インテリア・エコ関連では窓の断熱シート「マドピタシート」や新商品の窓の遮光シートなど季節もの商材が好調に推移した結果、売上高は2,362百万円（前年同期比55.0%増）、売上総利益は755百万円（同52.2%増）となりました。

(建材関連)

家具関連は加工基材の不足による影響で一部のアイテムで受注が減少しましたが、海外向け案件好調により増加しました。また、住宅関連では戸建て・集合住宅向けの機能的建材が順調に推移した結果、売上高は966百万円（前年同期比21.7%増）、売上総利益は156百万円（同32.7%増）となりました。

(医療・医薬関連)

病院関連では輸液関係包材が堅調に推移しましたが、新型コロナウイルス関連で防護服の公募が未だにされておらず、入札に遅れが出ている影響により減少しました。貼付剤関連では市場全体の物量は安定していたものの、離型フィルムの構成見直しによる主力アイテムの一時的な減少が影響し、売上高は700百万円（前年同期比15.0%減）となりました。利益については、比較的高価格帯の貼付剤向けが好調であったことにより、売上総利益は155百万円（同11.4%増）となりました。

(その他)

機械販売のほか、連結子会社化した三国紙工株式会社の重包装関係が増加したことにより、売上高は551百万円（前年同期比175.4%増）、売上総利益は144百万円（同195.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ866百万円増加し、32,651百万円となりました。

流動資産につきましては、受取手形及び売掛金が294百万円減少したものの、現金及び預金が612百万円、電子記録債権が202百万円、たな卸資産が155百万円それぞれ増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ740百万円増加し、17,563百万円となりました。

固定資産につきましては、生産能力増強を目的とした設備投資等に伴い有形固定資産が89百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ126百万円増加し、15,087百万円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べ47百万円減少し、17,515百万円となりました。

流動負債につきましては、支払手形及び買掛金が101百万円、短期借入金が143百万円、未払法人税等が243百万円それぞれ増加したものの、1年内返済予定の長期借入金が356百万円、その他が252百万円それぞれ減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ74百万円減少し、14,901百万円となりました。

固定負債につきましては、長期借入金が84百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ27百万円増加し、2,614百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ913百万円増加し、15,135百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が621百万円増加したことや、為替換算調整勘定が193百万円増加したこと等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べ528百万円増加し、4,235百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、1,950百万円（前年同四半期は、1,632百万円の増加）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益1,382百万円、減価償却費634百万円、売上債権の減少額138百万円及び未払消費税等の増加額149百万円等による増加要因が、たな卸資産の増加額105百万円及び法人税等の支払額239百万円等による減少要因を上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、1,064百万円（前年同四半期は、778百万円の減少）となりました。これは、差入保証金の回収による収入5百万円等による増加要因が、生産加工設備等の有形固定資産の取得による支出966百万円等による減少要因を下回ったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、449百万円（前年同四半期は、766百万円の増加）となりました。これは、長期借入れによる収入419百万円等による増加要因が、長期借入金の返済による支出691百万円及び配当金の支払額236百万円等による減少要因を下回ったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年9月29日に公表いたしました2022年2月期の連結業績予想について変更はございません。今後の新型コロナウイルス感染症の影響や経営環境等の変化により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には速やかに開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,723,389	4,335,759
受取手形及び売掛金	7,963,960	7,669,243
電子記録債権	1,692,349	1,894,899
商品及び製品	1,998,233	2,139,196
仕掛品	367,224	372,514
原材料及び貯蔵品	839,592	848,700
その他	244,440	309,917
貸倒引当金	△5,557	△6,272
流動資産合計	16,823,633	17,563,959
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	5,932,018	6,332,069
機械装置及び運搬具 (純額)	2,963,111	2,809,725
土地	3,140,388	3,140,388
その他 (純額)	943,761	787,079
有形固定資産合計	12,979,278	13,069,261
無形固定資産	366,847	368,642
投資その他の資産		
その他	1,642,221	1,676,532
貸倒引当金	△27,145	△27,145
投資その他の資産合計	1,615,075	1,649,387
固定資産合計	14,961,201	15,087,291
資産合計	31,784,835	32,651,251

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,657,837	3,758,846
電子記録債務	3,622,878	3,595,235
短期借入金	4,826,012	4,969,758
1年内返済予定の長期借入金	1,038,827	681,837
未払法人税等	250,750	493,860
賞与引当金	222,966	297,884
その他	1,356,629	1,103,700
流動負債合計	14,975,902	14,901,123
固定負債		
長期借入金	1,818,362	1,902,826
退職給付に係る負債	230,172	221,025
その他	538,282	490,402
固定負債合計	2,586,816	2,614,254
負債合計	17,562,718	17,515,378
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,057,468	1,057,468
資本剰余金	1,158,408	1,158,408
利益剰余金	10,360,425	10,981,530
自己株式	△1,101	△1,101
株主資本合計	12,575,200	13,196,305
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	139,478	151,684
繰延ヘッジ損益	△2,382	1,959
為替換算調整勘定	275,793	468,795
退職給付に係る調整累計額	5,924	2,589
その他の包括利益累計額合計	418,812	625,028
非支配株主持分	1,228,103	1,314,537
純資産合計	14,222,116	15,135,872
負債純資産合計	31,784,835	32,651,251

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
売上高	17,161,773	20,234,871
売上原価	14,513,522	16,638,090
売上総利益	2,648,250	3,596,780
販売費及び一般管理費	1,863,570	2,216,037
営業利益	784,680	1,380,743
営業外収益		
受取利息	947	2,725
受取配当金	9,491	9,438
持分法による投資利益	2,373	—
受取地代家賃	13,539	16,762
為替差益	—	80,119
その他	69,227	100,414
営業外収益合計	95,579	209,460
営業外費用		
支払利息	36,379	30,190
為替差損	22,642	—
その他	13,537	25,709
営業外費用合計	72,560	55,900
経常利益	807,699	1,534,302
特別利益		
固定資産売却益	149	—
負ののれん発生益	227,983	—
特別利益合計	228,133	—
特別損失		
固定資産除却損	6,692	1,644
減損損失	—	28,121
特別退職金	—	122,389
段階取得に係る差損	99,206	—
特別損失合計	105,898	152,155
税金等調整前四半期純利益	929,934	1,382,147
法人税等	223,956	467,329
四半期純利益	705,978	914,817
非支配株主に帰属する四半期純利益	22,551	56,717
親会社株主に帰属する四半期純利益	683,427	858,100

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
四半期純利益	705,978	914,817
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,671	12,153
繰延ヘッジ損益	△2,922	8,514
為替換算調整勘定	△50,829	222,224
退職給付に係る調整額	△3,235	△3,335
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,377	—
その他の包括利益合計	△45,694	239,556
四半期包括利益	660,283	1,154,374
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	646,497	1,064,316
非支配株主に係る四半期包括利益	13,785	90,058

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	929,934	1,382,147
減価償却費	479,239	634,521
のれん償却額	14,319	14,319
減損損失	—	28,121
負ののれん発生益	△227,983	—
段階取得に係る差損益 (△は益)	99,206	—
持分法による投資損益 (△は益)	△2,373	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△205	590
賞与引当金の増減額 (△は減少)	57,422	73,912
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△19,973	△13,952
受取利息及び受取配当金	△10,439	△12,163
支払利息	36,379	30,190
為替差損益 (△は益)	16,552	△78,779
固定資産除却損	6,692	1,644
固定資産売却損益 (△は益)	△149	—
売上債権の増減額 (△は増加)	567,792	138,967
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△335,228	△105,379
仕入債務の増減額 (△は減少)	339,727	△79,786
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△10,404	149,759
その他	△114,152	41,526
小計	1,826,355	2,205,638
利息及び配当金の受取額	12,994	12,163
利息の支払額	△36,626	△28,203
法人税等の支払額	△170,103	△239,477
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,632,620	1,950,121
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△767,483	△966,391
有形固定資産の売却による収入	150	—
有形固定資産の除却による支出	△2,513	—
無形固定資産の取得による支出	△66,505	△15,441
投資有価証券の取得による支出	△9,336	△9,891
貸付けによる支出	—	△6,000
貸付金の回収による収入	1,272	1,341
定期預金の預入による支出	—	△84,070
差入保証金の差入による支出	△2,209	△542
差入保証金の回収による収入	378	5,227
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	72,605	—
その他	△4,736	11,077
投資活動によるキャッシュ・フロー	△778,378	△1,064,692
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,030,582	95,772
長期借入れによる収入	429,000	419,381
長期借入金の返済による支出	△430,726	△691,906
リース債務の返済による支出	△33,437	△32,852
配当金の支払額	△228,670	△236,350
非支配株主への配当金の支払額	—	△3,623
財務活動によるキャッシュ・フロー	766,747	△449,579
現金及び現金同等物に係る換算差額	△14,272	92,451
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,606,717	528,300
現金及び現金同等物の期首残高	2,542,645	3,707,389
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,149,362	4,235,689

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

（追加情報）

（新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り）

前連結会計年度の有価証券報告書の（追加情報）に記載した新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて重要な変更はありません。